



商工くろいし

編集発行:黒石商工会議所
〒036-0307
青森県黒石市市ノ町5-2
TEL 0172(52)4316
FAX 0172(53)3875
URL http://www.k-cci.or.jp/
E-mail kuroishi@k-cci.or.jp

●黒石商工会議所と歴代会頭

<黒石商工会議所>

黒石商工会議所は、商工会議所法に基づき設立された地域経済団体である。その前身である黒石町商工会時代を含めるとその歴史は「百年目」という節目を迎えている。

商工会議所の歴史を振り返ると、1599年フランスのマルセイユにおいて世界最初の商工会議所が誕生した。一方、わが国においては、明治11年(1878年)に東京・大阪・神戸に最初の商工会議所が設立された。現在では、日本商工会議所を頂点として、全国の主要都市・地域に500を超える商工会議所がある。各地商工会議所は、地域を基盤としている点の特徴であり、会員は事業規模の大小にかかわらず、農業を含むあらゆる業種・業態の商工業者から構成され、地域における商工業者の世論を代表し商工業の振興発展に努めるなど公的な性格をもつ法人である。

黒石においては、大正5年(1916年)7月9日に黒石町商工会が発足され、その後、昭和22年(1947年)6月1日に社団法人黒石商工会議所へと改組された。新組織では初代会頭に館山徳太郎氏が選任された。昭和28年10月には、商工会議所法施行を経て、昭和29年8月14日に新法適用によって、黒石商工会議所に通産大臣から特殊法人の認可が下り、特殊法人黒石商工会議所に移行され現在に至っている。

その間、戦後の好景気による高度経済成長及び安定成長期、バブル景気、バブル崩壊、リーマンショック、東日本大震災による経済的影響など様々な経済情勢下において、青森県、黒石市、関係機関団体、会員企業、市民の皆様など多くの方々のご指導・ご支援・ご協力のもと地域経済団体としての事業活動を展開してきた。

<歴代会頭>

黒石町商工会時代(大正5年7月から昭和22年5月まで)は、初代会長の故鳴海義文氏、2代会長の故佐藤清吉氏を中心に組織された。その後の黒石商工会議所時代(昭和22年6月から昭和29年8月:社団法人・昭和29年8月から現在:特殊法人)は、初代会頭の故館山徳太郎氏から現職(13代会頭)の村上信吾氏まで、それぞれの時代において地域経済団体としての事業活動に取り組み、現在へと引き継がれている。とりわけ、10代会頭の故横山園吉氏(1976~1989年:約13年)、11代会頭の故中村勝治氏(1989~2007年:約19年)は在任期間の長さからその貢献度の高さが窺える。また、横山氏は昭和62年春藍綬褒章、中村氏は平成13年秋藍綬褒章を受章している。長きにわたり黒石商工会議所の事業活動等に貢献された歴代会頭をはじめとする先人の方々に敬意を表したい。



黒石商工会議所通常議員総会 昭和57年3月27日

<歴代会頭一覧>

歴代	氏名	在任期間
初代会長	鳴海 義文	前身 黒石町商工会
2代会長	佐藤 清吉	
初代会頭	館山 徳太郎	昭22.6.~昭25.9
2代会頭	佐藤 與三郎	昭25.9~昭29.5
3代会頭	木村 良一	昭29.6~昭31.6
4代会頭	斉藤 金一郎	昭31.6~昭34.8
5代会頭	中村 亀吉	昭34.8~昭36.7
6代会頭	斉藤 金一郎	昭36.7~昭38.6
7代会頭	須藤 喜代日	昭38.6~昭41.10
8代会頭	千葉 元造	昭41.10~昭49.2
9代会頭	大久保 惣之助	昭49.2~昭51.7
10代会頭	横山 園吉	昭51.7~平元.3
11代会頭	中村 勝治	平元.4~平19.10
12代会頭	北山 肇	平19.11~平24.10
13代会頭	村上 信吾	平24.11~

記事:小野智恵

●黒石こみせまつり

たまき えいこ
玉置 英子

<例年通りに明日は無い>



消防団の観閲式と祭りが組み合わせたイベントは全国でも珍しい。息子が団員だった頃は観閲式を観に行き、見終わった後はなんとなく店を覗いてみたり、初秋の街並みの雰囲気満足して家路に。これが私の「こみせまつり」初デビュー。かつて、弘前の土手町で商売をしていた私は、同日に行われるカルチャーロードを思い出しました。年々努力の甲斐あって大勢の人で賑わい、歩くのもままならない状態。飲食、手作り作品販売、段ボール迷路、各小中学校の防犯ポスター展示、消防署は梯子車を出勤させ希望者に体験させるなど、多種多様なイベントで盛り上がっていた記憶があります。時節柄、近隣地域はイベント尽くし。「こみせまつりに行かなきゃ損」と思わせるイベントにするのが大きな課題です。

<新しい事へのチャレンジで未来へ繋ぐ>

2年前に手作り作品販売のブースを横町に「手しごとロード店」として設け、急な声かけにも関わらず、4件出店してもらいました。昨年は7件、今年は11件と参加者が少しずつ増えています。昨年の出店者が思った以上の収益があったとのことでのリピーターもいます。昨年より今年、今年より来年と毎年内容を充実させ新しいものを取り入れ集客率アップを図りたいと考えています。

<与えたものしか返らない、結果は後から付いてくる>
主催者側は無事に終わってくれることを願う、これは当然のこと。年間スケジュールに組み込まれ、またこの時期が来たからやりますではなく、自分たちが楽しい、楽しみと感じているか。自分が楽しく、自分が感動するものは相手も同じように感じるのです。来場者が楽しめた結果、多くの収益を上げることも繋がっていくのではないのでしょうか。あの時こうしていれば...と後悔するより、行動を起こすことが大切で、反省することはもっと大事だと思います。

<プロフィール>

玉置英子(たまき・えいこ)
平成20年6月、青森県黒石市で県内の作家の手作り工芸品などを販売する「李紗羅(いさら)」をオープン。現在に至る。

第30回
くろいし、まちなか文化祭
Komise-Festival in Kuroishi
和服、くそろ歩けば、ほのかに香る江戸情緒。
平成27年
9/12土
午前10時~午後4時
9/13日
午前9時~午後4時
会場:黒石市中町・前町・横町
実行委員会
黒石こみせまつり実行委員会
青森県黒石市市ノ町5-2 黒石商工会議所
青森県黒石市市ノ町5-2 黒石商工会議所
青森県黒石市市ノ町5-2 黒石商工会議所
青森県黒石市市ノ町5-2 黒石商工会議所
青森県黒石市市ノ町5-2 黒石商工会議所
黒石商工会議所
TEL 0172-82-4316

●読者プレゼントに応募して、商品券をGETしよう! (詳しくは裏面の記事をお読みください)

第314号読者プレゼント応募キーワード 黒石商工会議所の初代会頭は？

広報特別委員会では、より充実した誌面づくりを目的に、本誌に対するご意見・ご感想を募集いたします。応募キーワードの正解者の中から抽選で、全国共通商品券(プリペイドカード)QUOカード1,000円分を5名の方にプレゼントいたします。奮ってご応募ください!!なお、当選者の発表は、発送をもってかえさせていただきます。



- 応募方法：①郵便はがき ②FAX ③当所ホームページ
- 必要事項：①住所 ②氏名 ③年齢 ④性別 ⑤電話番号 ⑥ご意見・ご感想 ⑦応募キーワード

応募締切10月31日 (消印有効)

〒036-0307 黒石市市ノ町5-2 黒石市産業会館2階
黒石商工会議所 商工くろいし読者プレゼント係
TEL:0172-52-4316 FAX:0172-53-3875
当所ホームページ(<http://www.k-cci.or.jp>)から応募できます!



スマホなどからも応募できるようにしました。

LOBO調査 [商工会議所早期景気観測調査]

業況DIは、足踏み。先行きは改善見込むも、転嫁遅れなどからばらつき

2015年7月 調査結果のポイント

◇7月の全産業合計の業況DIは、▲20.0と、前月から▲4.7ポイントの悪化。仕入価格上昇分の転嫁遅れや人手不足、人件費の増大が経営の足かせとなる状況が続く。また、台風など天候不順の影響による売上減を指摘する声も聞かれ、中小企業の景況感には足踏みとなった。ただし、好調なインバウンドによる下支えや、住宅・設備投資に持ち直しに向けた動きが伺えるなど、好材料がみられるほか、「好転」から「不変」への変化がDIを押し下げる要因となったことにも留意が必要。

◇先行きについては、先行き見通しDIが▲17.0(今月比+3.0ポイント)と改善を見込むも、「悪化」から「不変」への変化が主因。賃上げ、プレミアム付商品券などによる個人消費の持ち直しや、夏休みに伴う観光需要の拡大、住宅・設備投資の回復を期待する声が聞かれる。他方で、コスト増加分の価格転嫁や人手不足、人件費の増大などの懸念材料が残り、中小企業においては、先行きの見通しにばらつきがみられる。

DI値(景況判断指数)について
DI値は、売上・採算・業況などの各項目についての、判断の状況を表す。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景況感の相対的な広がりを目指す。
※DI=(増加・好転などの回答割合)-(減少・悪化などの回答割合)
[業況:採算:好転-悪化]、[売上:増加-減少]
※LOBO調査ホームページ > <http://www.jcci.or.jp/lobo/lobo.html>



●職場改革で、変貌を遂げた長岡塗装店

島根県松江市に株式会社長岡塗装店という建物や塀などへの塗装を専門とする中小企業がある。塗装業界は一般的に3Kとか5K職場などと呼ばれ、若者や女性に敬遠されている。さらには、高い離職率、従業員の高齢化、その結果としての、従業員のモチベーションの低下に悩んでいる企業が多い。この業界にあって、長岡塗装店は、見事にこうした問題をことごとくクリア。成長発展している企業である。

今から20年ほど前までは、他の会社と同じような多くの問題を抱えた、ごくごく普通の会社だった。しかしながら、事業承継した娘夫婦(娘婿が社長)は、「このままではじり貧となり、やがてつぶれてしまう……」と危機意識を持ち、経営改革に取り組んでいった。

二人が強く問題意識を持ったことは、次の二つだ。一つ目は、若者や女性の不足と高い離職率は外部の問題ではなく、自社が若者や女性にとって、働く場所としての魅力を持っていないということ。もう一つは、なぜ体中にノウハウが詰まった、働きたいと思っている高齢者を、定年だからという理由だけで離職させてしまっているのかということである。

二人は全社員と議論を重ねた。そして、若者や女性、さらには高齢者が働きやすい・働きたくなる職場づくりを、できるものから順に実行していく。その結果として、新設・改善された福利厚生制度は20種類以上になっている。その一部を紹介すると、「子どもの看護休暇(30分単位、有給休暇とは別)」「本人または配偶者の出産祝い金(10万円)」「(認可・無認可を問わず)保育料の3分の1を補助」「育児や看護のための始業・終業時間の繰り上げ・繰り下げ」「家族の介護サービス利用費用を3分の1補助」「70歳までの継続雇用制度」「リラクゼーションルームと機器の整備」「技能士など、国家資格の取得経費を補助」「講演会・セミナーなどへの参加を奨励」などだ。

こうして、かつては30%以上あった離職率が現在では実質ゼロにまで改善、従業員が定着するようになり、従業員数も倍増。このほか、女性社員の比率は14%から50%に、子どもがいる社員もゼロから3分の1に、さらに国家資格の取得数も大幅に増加している。こうして見ると、企業の本質は業種や規模ではなく、人材、とりわけ経営の考え方・進め方に本質があるということが分かる。

法政大学大学院政策創造研究科
教授 坂本 光司/さかもと・こうじ

1947年東京生まれ。福井県立大学教授、静岡文化芸術大学教授などを経て、2008年4月より法政大学大学院政策創造研究科(地域づくり大学院)教授、同静岡サテライトキャンパス長および同イノベーション・マネジメント研究科兼任教授。他に、国や県、市町、商工会議所などの審議会・委員会の委員を多数兼務している。専門は中小企業経営論・地域経済論・産業論。著書に『日本ではいかに大切にしたい会社』(あさ出版)、『この会社はなぜ快進撃が続くのか』(かんき出版)など。



●雇用保険の加入手続はなされていますか！ —失業保険の受給には雇用保険の加入が必要です—

雇用保険は労働者が失業した場合や雇用の継続が困難となる事由が生じた際に必要な給付を行うことにより、労働者の生活の安定や雇用の維持を図るとともに求職活動を促進する事を目的としている制度です。

雇用保険の適用は、一定の条件で雇用実態があれば当事者の意思にかかわらず加入手続を行う必要がある政府が経営主体の強制保険です。

☆ 雇用保険に加入していないと…

- ① 会社を退職した際の失業給付がスムーズに受給できなくなる。
- ② 再就職する際の準備(職業訓練や教育訓練の受講)に支障がでる。
- ③ 育児や介護などの休業する際に受給できる給付に影響がでる。

例えば、一般被保険者のケースでは、雇用保険は一週間あたりの所定労働時間が20時間以上で、かつ31日以上雇用の見込みがある条件で雇用している場合には、パート・臨時・アルバイト・見習い等の方でも加入対象になります。また1カ月の勤務実績が87時間以上継続されている場合も加入が必要になります。お手続きが済んでいない場合は、お早目に手続きをお願いします。

お問い合わせ 黒石公共職業安定所適用係 TEL:53-8609

記事:小野智憲

●国勢調査2015 (平成27年国勢調査)

今回からインターネット回答がスタート!

今回の国勢調査から情報通信技術(ICT)の更なる進展の状況を踏まえ、調査手法を進化させ正確かつ効率的な統計の作成を行うとともに、国民の負担軽減・利便性の向上を図るなどの観点から、わが国で初めて全世帯を対象としたオンライン調査が実施されます。

さらに、オンライン調査を推進するため「調査票の配布」に先行してインターネット回答を実施し、回答のなかった世帯にのみ調査票の配布が行われます。インターネット回答では、スマートフォンからも回答できますので便利です。ぜひ、この機会にご活用ください。



お問い合わせ 国勢調査コールセンター TEL:0570-07-2015

記事:小野智憲



女性会レポート! ～活動報告～

<東北大会への参加>

去る平成27年7月7日、盛岡市において東北六県商工会議所女性会連合会総会盛岡大会が開催され、当女性会からは12名の会員が出席しました。講演会では医師の川村隆枝氏が講師として、「映画『救いたい』に寄せる想い」と題して講演されました。川村氏は、麻酔科医としての役割と東日本大震災の経験、また、女性として妻として第一線で働くことの難しさを語り、自著「心配ご無用 - 手術室には守護神がいる」を原作とした映画



「救いたい」の撮影秘話などを披露しました。

<黒石よされ廻り踊りへの参加>

去る平成27年8月20日、黒石駅前広場にて行われた「黒石よされ廻り踊り」に、8年連続で当女性会も参加しました。この廻り踊りは、8月18日・19日・20日と3日間開催され、当女性会は20日を担当しました。事前に踊りの講習会を開催し、一般参加者の見本となれるよう練習しました。当日は天候にも恵まれ、お盆の終わりと共に去りゆく黒石の夏を感じながら、一般参加者の皆さんと二重三重に櫓を囲み、一緒に楽しく踊りました。



●ご入会・お問い合わせ
黒石商工会議所女性会事務局
TEL:52-4316 担当:西沢

記事:西沢 弘

商工くろいし [WEB]



「商工くろいし」の電子版を当会議所ホームページに掲載しています。パソコンはもちろん、スマホ・タブレットでもご覧いただけます。
<http://www.k-cci.or.jp/syokokuroishi/>
※ご覧になるためには、Adobe Reader(無償)というソフトが必要です。